

〔説明資料〕 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的，利用方法，作品自体やその製作過程で工夫したことを，文章，写真，図などで説明。この用紙1枚に記入し，PDFファイルに変換した後，ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学 日奈久中学校	個人・ グループ名	大楠ユウ	作品名	収納量を変えることができる マルチラック
-----	----------------	--------------	------	-----	-------------------------

□製作の動機□

●学校現場で必要になるとされるラックを、大学での最後の作品として製作した。

□利用方法・工夫点・特徴□

●材料には、大学の工場の屋外の放置してあったマツ系の荒材を手押し・自動かな盤で製材し、使用した。

●接合は釘と接着剤で行い、埋め木をして仕上げた。

●本体はナチュラルオイル仕上げ、可動部は着色オイル仕上げのツートンカラーとした。

●本体には技術の教科書や学習ノート、可動部にはA4ファイルを収納できる。

●本体の上棚は、左にA4プリントがピッタリ入り、右は小物置きである。

●スムーズに動くよう、必要に応じて1～2mmの範囲で遊びを設けた。

●最小時には、底面・背面ともにフラットであり、普通の棚のようなものである。

●最大時には、本体に学習ノート100冊、可動部にはA4ファイル40冊収納できる。

●本体・可動部ともに、側板と背板の接合は、同一面上をスライドする機構と側板の強度を考慮し、背板の一方は側板側から、もう一方は背板側から釘を打ち接合している。

●本体と可動部の右側板の形状は相似となっている。

●可動部の左側板は、本体の仕切り板としても機能する。

●生徒の製作意欲の向上に一役買っている。

●正面及び側板の縦横比は黄金比(1:1.6)となっており、なんとなく美しい。

●現在、技術室に置いてあり、もっぱら、生徒のファイル・学習ノートの提出用として利用されている。



左側板



正面



右側板



背面

